

日本下水道事業団の研修の開催についてご案内いたします。【平成 26, 27, 28 年度研修受講生対象】

---

## 1. 経営セミナーの開催について

(平成 29 年 7 月～8 月)

---

企業会計方式への移行、水洗化率の鈍化、流入水量の減少等による使用料収入の減少、使用料、負担金の滞納問題等、経営上の課題は特に深刻な問題となっています。そこで、経営コースの中でこれらの問題解決に向けた各種（企業会計、消費税、受益者負担金、滞納対策等）の 5 日間程度の専攻を戸田研修として設けるとともに、各専攻を 1 日に短縮し、全国各地で各専攻を組み合わせた 2～4 日間の研修を開催しています。

平成 29 年 7 月～8 月の経営セミナーの開催予定は下記の通りです。

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou\\_pdf/h29tihou.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou_pdf/h29tihou.pdf)

1 日だけの研修受講も可能ですので、参加をご検討いただきますようお願いいたします。  
地方研修の詳細については下記をご参照ください。

### 仙台

8 月 8 日（火）～ 9 日（水） （消費税（基礎）、滞納対策）

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou\\_pdf/29-9sendai.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou_pdf/29-9sendai.pdf)

### 東京

8 月 21 日（月）～ 22 日（火） （消費税（基礎）、消費税（実務））

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou\\_pdf/29-12tokyo.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou_pdf/29-12tokyo.pdf)

### 長野

7 月 27 日（木）～ 28 日（金） （消費税（基礎）、滞納対策）

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou\\_pdf/29-8nagano.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou_pdf/29-8nagano.pdf)

### 名古屋

7 月 20 日（木）～ 21 日（金） （消費税（基礎）、滞納対策）

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou\\_pdf/29-7nagoya.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou_pdf/29-7nagoya.pdf)

### 大阪

8 月 14 日（月）～ 15 日（火） （消費税（基礎）、消費税（実務））

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou\\_pdf/29-10osaka.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou_pdf/29-10osaka.pdf)

### 岡山

8 月 16 日（水）～ 17 日（木） （消費税（基礎）、消費税（実務））

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou\\_pdf/29-11okayama.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou_pdf/29-11okayama.pdf)

福岡

8月24日（木）～ 25日（金） （消費税（基礎）、消費税（実務））

<[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou\\_pdf/29-13fukuoka.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/chihou_pdf/29-13fukuoka.pdf)>

---

## 2. 平成29年度下水道研修追加募集について （7月～9月開講分）

---

7～9月に開催する「戸田研修」の専攻について、下記の通り追加募集を行っております。申し込みの際しましては、応募状況に伴う受講の可否についてお問い合わせください。なお、研修受講料の他に別途宿泊費として1泊当たり4,400円（消費税込、3食込）が必要になります。

詳細については、下記をご参照ください。

<[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu\\_pdf/h292jituika.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/h292jituika.pdf)>

10月以降に開催する研修については、下記の「下水道研修参加募集案内平成29年度」をご参照ください。

<[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu\\_pdf/h29boshuannai.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/h29boshuannai.pdf)>

---

## 3. 開講講座の紹介

---

### ① 計画設計コース『浸水シミュレーション演習』 平成29年 9月28日（木） 1日間

---

近年、下水道計画降雨を超える集中豪雨が頻発しています。効率的な雨水排除計画を立案するためには、流出解析モデルの活用が不可欠です。

この研修では、流出解析モデルの基礎を学び、実際のシミュレーションソフトによる雨水流出解析を体験します。一人一台環境のもとで、モデル構築からキャリブレーションまでの実習を行います。

詳細については下記をご参照ください。

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu\\_pdf/shinsui.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/shinsui.pdf)

---

### ② 経営コース『効果的な包括的民間委託の導入と課題』

平成29年 9月26日（火）～9月29日（金） 4日間

---

下水処理場の維持管理は、約9割以上が民間事業者に委託されており、定められた仕様にしたがって業務委託が行われている場合がほとんどで、業務の効率化や維持管理コストの縮減が図りにくい状況にあります。こうした状況を改善するための一つの方策として、包括的民間委託の導入が進められているところです。

本講座では、地方公共団体等の職員が、包括的民間委託導入に向けた具体的な契約等の手続きを行う際

に検討する必要がある、発注図書に記載すべき事項や民間事業者選定、受託者が満たすべき性能その他の要件、委託者と受託者の責任分担等について具体的な事例に基づき解説します。

詳細については下記をご参照ください

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu\\_pdf/houkatu.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/houkatu.pdf)

---

③ 経営コース『企業会計－移行の準備と手続き』 5日間  
第2回 平成29年 9月11日(月)～ 9月15日(金)

下水道事業へ地方公営企業法を適用しようとしている地方公共団体等において企業会計の知識を習得しようとしている自治体職員を対象に、地方財政の仕組み、地方公営企業の仕組みについて理解するとともに、企業会計の採用によるメリットを下水道事業に反映させることができるようになることを目的としています。

本専攻は、単に企業会計の仕組みを解説するだけでなく、下水道経営の現状と課題の中でその意義を位置づけながら、企業会計を正しく理解していただけるカリキュラムとなっています。下水道事業に携わって日が浅い担当者の方にもポイントを理解していただけるよう配慮しており、簿記や会計用語のわからない方、実務経験のない方にもわかるよう研修を進めます。また、研修生同士のネットワークを作ることができ、職場に戻ってからも情報交換のために大いに役に立ちます。

詳細については下記をご参照ください

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu\\_pdf/h29kigyokaikei.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/h29kigyokaikei.pdf)

---

④ 実施設計コース『管きょ設計Ⅰ』 12日間  
第2回 平成29年 8月28日(月)～ 9月 8日(金)  
第3回 平成29年11月27日(月)～12月 8日(金)  
第4回 平成30年 1月22日(月)～ 2月 2日(金)

本専攻は、下水道管きょの基礎知識を学び、開削工法による管きょの設計積算が出来ることを目標としています。対象は、下水道の実務経験が浅い自治体職員で、開削工法による管きょの設計積算技術の習得を希望する職員向けの研修となっています。

研修期間は、約2週間です。カリキュラムは、下水道全般についての基本的な解説、管きょ施設の構造、基礎工の選定と演習、開削工法における土留め工法の解説、現場踏査と設計図面の作成演習などから構成されています。講師は、地方公共団体、各種団体のベテラン職員が担当し、実習は、少人数によるグループ編成で複数の講師陣によるきめの細かい指導が受けられます。

研修日程は長期となりますが、この研修成果を仕事の教科書として活用すると共に、研修生が地域で活躍する際の一助となることを望んでいます。

平成29年度については、4回の開催を予定しております。

詳細については下記をご参照ください。

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu\\_pdf/kankyo1.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/kankyo1.pdf)

- 
- ⑤ 維持管理コース『管きよの維持管理』 12日間  
第1回 平成29年 8月28日(月)～ 9月8日(金)  
第2回 平成29年11月27日(月)～12月8日(金)
- 

全国の下水管きよは、46万キロメートルが整備され、布設後50年を経過するものは1万キロメートルとなり今後も老朽化する管きよの増加が予測されています。安心して下水道を使い続けるためには、管の閉塞や破損による浸水や道路陥没等の重大事故が発生しないよう「点検・調査」を怠ることなく、「修繕・改築」によって管きよを健全な状態に保つことがなお一層重要になっています。

『管きよの維持管理』は、管きよの点検・調査の計画から手法まで広く技術を習得できる内容とし、実務を模擬的に体験することによって現場でどのような機器が使われ、どのような方法により、どのような作業を行うか実感できます。さらに、健全性を保つために必要となる「修繕・改築工法」の知識や「保全実務」上の課題、「不明水」の原因と対策など公共団体が抱える課題が共有でき、知りたいことが満載された短期集中型の費用的、期間的にも、小さい負担で最大の満足が追及できる専攻となっています。即戦力となる技術者の育成にもお役立ていただけたら幸いです。

詳細については下記をご参照ください。

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu\\_pdf/kankyoi\\_jikanri.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/kankyoi_jikanri.pdf)

---

その他、実施コースの詳細については、下記の「平成29年度下水道研修参加募集案内」をご参照ください。

[https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu\\_pdf/h29boshuannai.pdf](https://www.jswa.go.jp/kensyu/goannai/iciran/koumu_pdf/h29boshuannai.pdf)

---

\*\*\*\*\*  
地方共同法人 JS 日本下水道事業団研修センター  
〒335-0037 埼玉県戸田市下笹目 5141  
TEL : 048-421-2692, FAX:048-421-2860  
\*\*\*\*\*

本メールは平成26,27,28年度に本研修センターで研修を受けられた方を対象にお送りしています。お手数ですが、このメールを研修担当者にご連絡いただき参加をご検討いただければ幸いです。

今後、研修のご案内を本メールアドレス宛に送付させていただく予定ですが、他のメールアドレス宛での送付をご希望される場合、送付を希望されない場合はその旨を記載の上当受骗アドレスへご返信ください。なお、当メールアドレスへの問い合わせ等はお遠慮ください。

\*\*\*\*\*  
JS 技術戦略部では、JSにおける技術開発に関する情報を掲載している「JS 技術開発情報メール」を発行しています。新規登録は [gikai@jswa.go.jp](mailto:gikai@jswa.go.jp) へお申し込みください。

詳細については、日本下水道事業団ホームページ <https://www.jswa.go.jp> をご参照ください。

バックナンバーもご覧になれます。

\*\*\*\*\*